

# お客さま本位の業務運営に関する取組状況

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に基づいて、下記のとおり成果指標(KPI)を公表いたします。

館林信用金庫

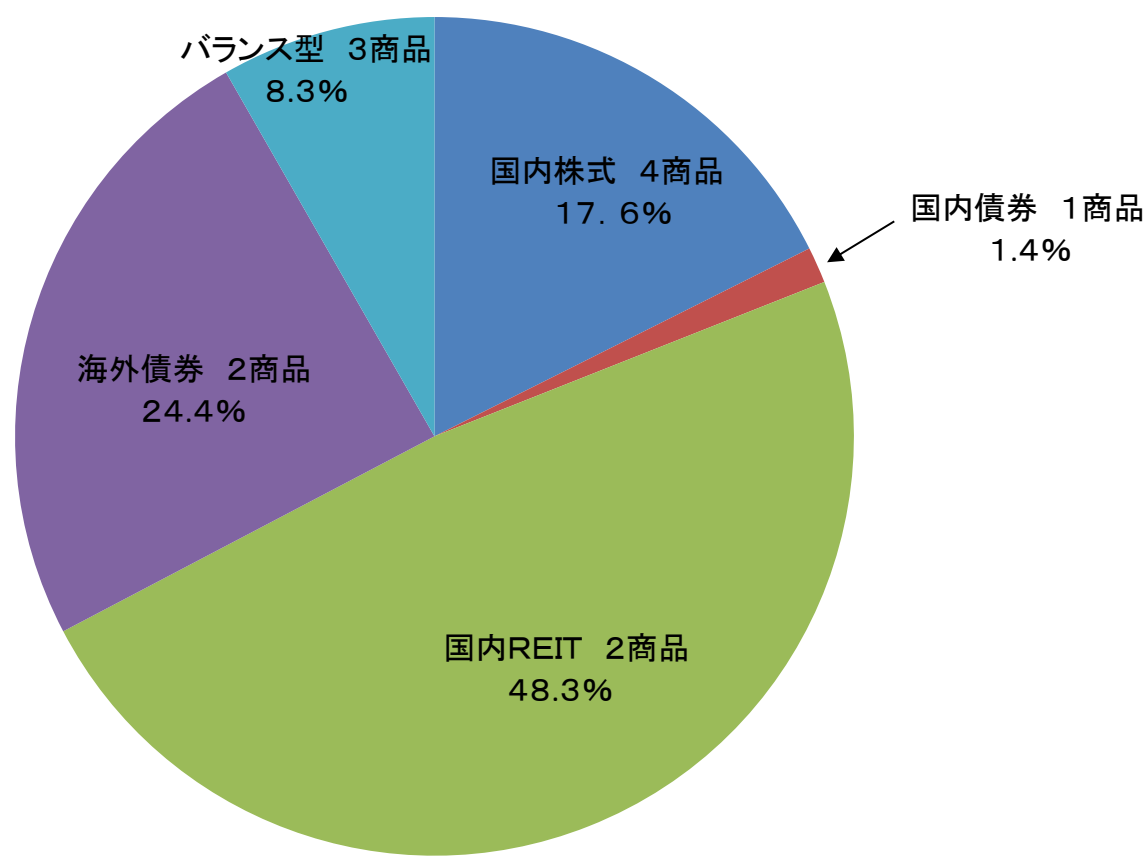
2024年3月末現在

## ① 投資信託の取扱状況(共通KPI)

順位	主な投資対象	ファンド名	販売額(単位:千円)	販売額構成比	コスト	リスク	リターン
1位	国内REIT	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	159,707	48.3%	1.49%	14.90%	0.65%
2位	海外債券	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	56,548	17.1%	1.71%	5.52%	3.47%
3位	国内株式	しんきんインデックスファンド225	33,210	10.0%	0.88%	17.00%	14.87%
4位	海外債券	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	24,581	7.4%	1.60%	10.84%	7.30%
5位	バランス型	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	24,189	7.3%	1.54%	8.31%	3.64%
6位	国内株式	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	16,942	5.1%	1.09%	22.80%	21.66%
7位	国内株式	ニッセイ日本勝ち組ファンド(3ヵ月決算型)	7,946	2.4%	1.54%	16.62%	14.30%
8位	国内債券	しんきん公共債ファンド	4,608	1.4%	0.66%	1.28%	△0.85%
9位	バランス型	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	2,719	0.8%	1.84%	7.87%	5.80%
10位	国内株式	しんきん好配当利回り株ファンド(1年決算型)	110	0.03%	1.32%	14.72%	13.95%
合計(販売額・販売額構成比)・残高加重平均値(コスト・リスク・リターン)			330,564	100.0%	1.39%	14.06%	6.43%

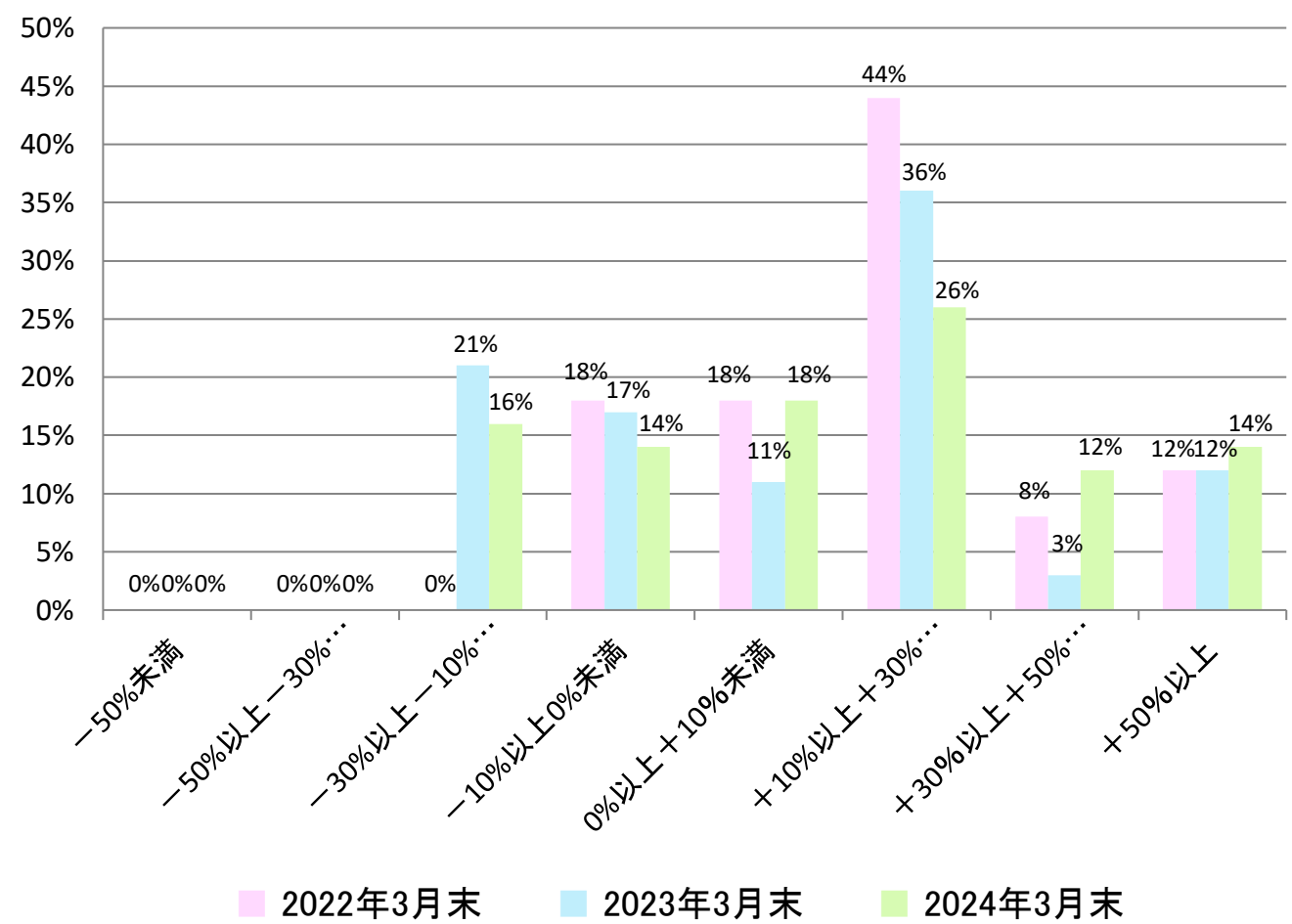
※ 設定期間が5年未満の取扱い銘柄(しんきんJリートオープン(隔月決算型)・しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型))は、集計から外しております。

## ② 投資信託の商品種類別販売額の構成比と取扱数(自主的なKPI)

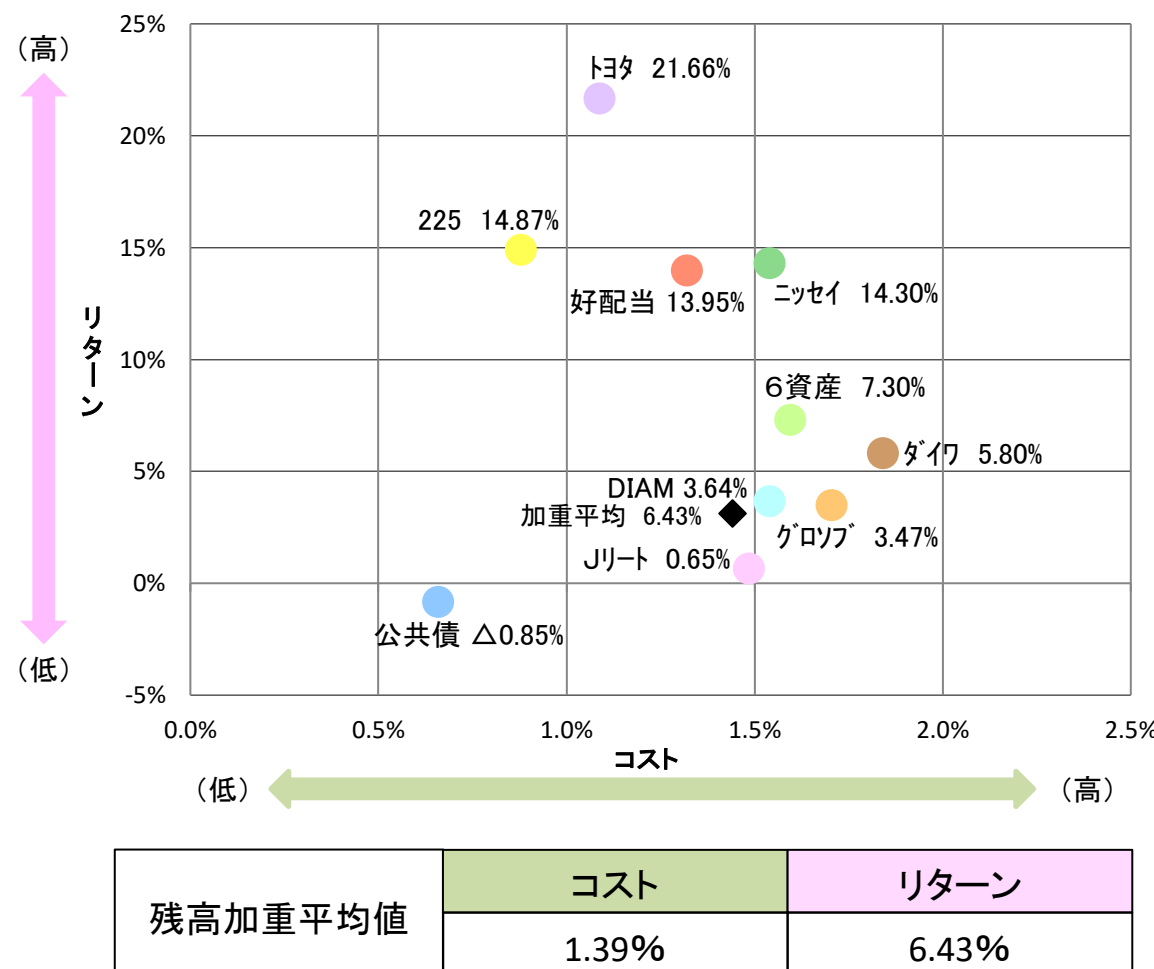


## ③ 投資信託の運用損益別顧客比率(共通KPI)

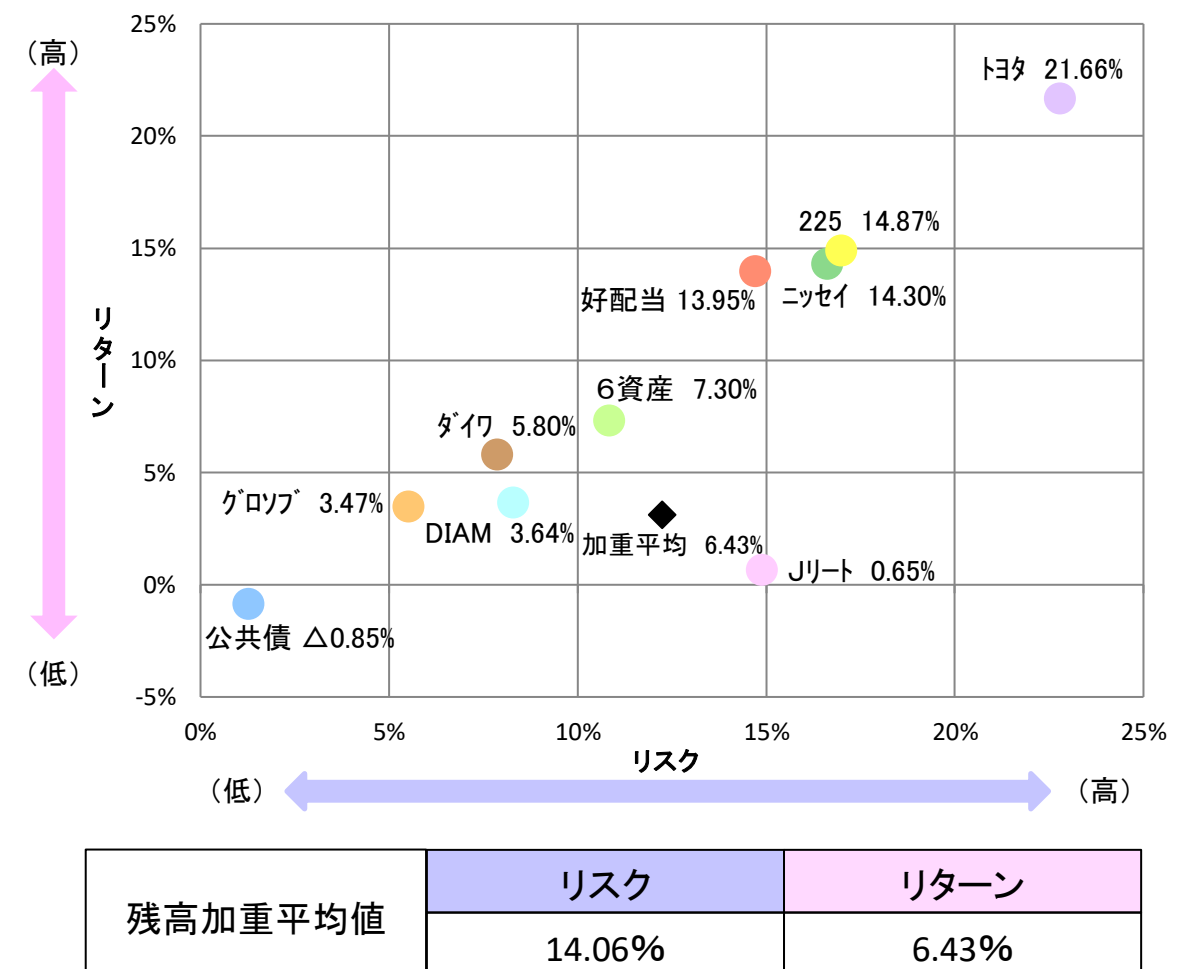
※ お客さまの投資信託の損益状況をグラフにしたものです。



## ④ 投資信託のコストとリターン(共通KPI)



## ⑤ 投資信託のリスクとリターン(共通KPI)



○ 2024年1月以降、堅調な米国経済や海外投資家による日本株投資の積極化、円安の進行、新NISAの資金流入等により株価が上昇したことで、株式に投資するファンドの収益率が上昇しリターンが大幅に増加しました。

○ 投資信託のリスクは前年度(12.24%)と比べて増加しましたが、リターンも前年度(3.11%)に比べ大幅に増加しました。

(注1)表中の%は、各投資信託のコストに対するリターンを表示しております。  
 (注2)コストは、販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値。  
 (注3)リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。  
 (注4)設定期間が5年未満の取扱い銘柄は、集計から外しております。

(注1)表中の%は、各投資信託のリスクに対するリターンを表示しております。  
 (注2)リスクは、過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)。  
 (注3)リターンは、過去5年間のトータルリターン(年率換算)。  
 (注4)設定期間が5年未満の取扱い銘柄は、集計から外しております。